

■福島県田村市でモニタリングの実習

10月17、18日の両日、行動隊の4人のメンバーが福島県田村市で放射線量の測定実習を行いました。

計測には、福島原発行動隊が最近購入したRadiation Measurement KRM311（関西電子製）など4種類のカウンターを持参し、計測結果をGPS機能がついたデジカメ EX-H20G（カシオ製）で撮影しました。これにより、測定値、測定時刻、測定位置を簡単に記録することができます。



斜面で地表1メートルの放射線量を測定した

測定は次の3つの方法で行いました。まず車での移動中に、車中で5分ごとに測定しました。また田村市では一軒の民家の周囲を、それぞれの地点ごとに地表と地表1メートルの高さで測りました。最後に、特に放射線量の高い地点について1分間隔で100回の

繰り返し測定を行いました。

17日の夜は、田村市に隣接する川内村の宿屋に宿泊しましたが、客はわれわれだけでした。住民のほとんどが避難しているとのことで、村役場にも人影はなく、2年前に建てられたという立派な小学校も閉鎖されたままでした。田圃はいっさい作付けされずに雑草が生い茂ったままで、養豚場や養鶏場も空っぽでした。



建物の楕近くでは線量が非常に高かった

この実習の結果は報告書にまとめて後日公開する予定です。



20キロ地点では大阪府警の警察官が検問をしていた

■「ウォッチャー」のメンバーが決まりました

福島第一原発の状況分析を行うウォッチャーの顔ぶれが決まりました。

東京電力のサイトには膨大な量の資料やデータがアップされており、福島第一原発の現況と事故収束作業に関する貴重な情報源になっています。ウォッチャーはこれらの情報を分析し、分かりやすくまとめる作業を行う目的で置かれることになったもので、10月初めにメンバーが決まりました。

今回選ばれたウォッチャーはいずれも行動隊員で総勢5人です。代表をつとめる中川晋一氏以下、メンバーには、長年にわたり民間企業本社の技術管理部で技術情報の分析に従事していた方や、東芝の元原子炉設計者、工業高校教員、飛行機的设计者など、さまざまな分野で専門的かつ幅広い知識をもって活動してきた方々が揃っています。

当面の活動として、ウォッチャーは東電が10月に更新した事故収束活動の進捗状況に関する報告を分析してまとめ、11月10日に開催予定の次回院内集会で報告する予定です。

■放射線量測定に関する勉強会を開催

10月14日(金)の午後、滝野川の事務所で放射線量測定に関する勉強会が開かれました。講師は行動隊モニタリング・チームの西ひろし氏がつとめました。西氏は6種類のカウンターを実際に持ち込んで、カウンターの値がすべて違うことを示しながら、値が違うのにはそれなりの理由があること、放射線量は一度計測すればそれでよいというわけではなく何度も測って値の分布状況を知り、それをもとに平均値を出すことが重要であることなどを説明しました。

■神奈川と千葉で集会が開催されました

先週、神奈川と千葉で福島原発行動隊の地域集会が開かれました。それぞれの集会について簡単に紹介します。

●神奈川集会

集会は10月16日(日)の午後2時から、横浜市開港記念会館で開かれ、約40人が参加しました。県外からの参加者もあり、また初めて行動隊の集会に参加した方も少なくありませんでした。集会では牧山ひろえ参議院議員が挨拶した後、参加者が一人ずつ自己紹介をして参加の動機や行動隊に対する思いなどを語りました。その後、山田理事長がスライドを使いながら行動隊の活動を紹介し、参加者からの要望や意見が出されました。「スキルがない自分でも役に立てるのか」、「いつ行けるのか」など、院内集会でもよく出される意見もありました。集会では、参加者からの差し入れのお菓子をお茶に添えて提供し、院内集会とはまた一味違った雰囲気でした。なお集会の様子はフランスのテレビ局が取材しました。



神奈川集会 (10月16日)

●千葉集会

集会は10月20日(木)の午後3時から千葉県船橋市の中央公民館で開かれ、26人が参加しました。参加者の半数以上が初めての参加でした。民主党の田嶋要衆議院議員、中後淳参議院議員からのメッセージが紹介された後、山田理事長がスライドを使って行動隊について説明しました。続いて千葉県消防本部救急救命士の松本氏が現地へ出動した際の経験についてパネルを使って報告し、その後、関西のテレビ局で放送されたビデオが上映されました。

参加者からはさまざまな発言がありました。「福島の農産物は風評により異常に安く販売されている。このような風評を取り除くことも行動隊の役目ではないか」、「行動隊の実績を積み上げる意味からも、20キロ圏外の除染作業なども行動隊の活動としてはどうか」、「自分は若いころから汚染施設で働いてきた。4ミリシーベルトを浴びているが結婚もしたし、子供もできた。侮ってはいけませんが怖がってもいけない」、「行動隊として、声がかかった時には即応できるように態勢を準備することが大切」などが目立った意見です。

11月にまた集会を開こうという提案に参加者一同が賛成し、成功裏に散会しました。

■お詫びと訂正

『通信』第4号で、来月明治大学で開催予定の集会「退役技師と語る原発の現在、未来」について、開催日を「11月16日(日)」とお知らせしましたが、「11月6日」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。集会の開催要項は以下の通りです。

日時： 2011年11月6日(日) 14:00~17:00

会場： 明治大学リバティタワー6F 1065教室

参加費：5,000円(収益金は福島原発行動隊への支援金として寄附されます)

